

事務事業評価シート

(平成 25 年度実施事業)

事務事業名	せきれい関係事業			事業コード	154
所属コード	046700	課等名	市民協働推進課	係名	地域活動係
課長名	吉田 春彦	担当者名	永井 健弘	内線番号	2115
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

1 事務事業の基本情報

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	心つながる相互理解	コード	3	
	施策	元気な地域コミュニティ活動の推進	コード	1	
	基本事業	コミュニティ活動の促進	コード	1	
予算費目名	一般会計 2 款 1 項 8 目せきれい関係事業 (002-01)				
特記事項					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度			開始年度	昭和 48 年度
根拠法令等					

(2) 事務事業の概要

町内会や市民運動団体が自主的に行う研修を目的とした活動に、地域活動バス「せきれい」号を貸し出す。

(3) この事務事業を開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか)

地域活動バス「せきれい」号は、昭和 48 年 10 月から巡回相談車として運行していたが、昭和 51 年から町内会や市民運動団体等の活動に貸し出している。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

町内会が自主的に行う研修を目的とした活動に、行政がバスを貸し出す事業は全国でもほとんど見られない独自のものである。町内会等のほかに地域に密着したサークルや市民運動団体などからの利用申請もあるが、利用者は固定化し減少している。

平成 25 年度にバスを更新したことから、運行日や運広範囲の拡大を検討している。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象 (誰が, 何が対象か)

町内会, 市民運動団体等

(2) 対象指標 (対象の大きさを示す指標)

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	27年度 見込み
A 人口	人	298,853	299,220	299,220	299,585	299,585
B						
C						

(3) 25年度に実施した主な活動・手順

地域活動バス「せきれい」号の貸し出し

(4) 活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	27年度 目標値
A 地域活動バス「せきれい」号の運行日数	日	90	85	85	72	80
B						
C						

(5) 意図 (対象をどのように変えるのか)

地域活動の活性化につなげ, あたたくふれあいのある地域社会づくりを推進する。

(6) 成果指標 (意図の達成度を示す指標)

指標項目	性格	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	27年度 目標値
A 利用者数	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input checked="" type="checkbox"/> 維持	人	2,502	2,447	2,447	2064	2,400
B	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						
C	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	23年度実績	24年度実績	25年度計画	25年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	796	900	900	959
	⑤その他()	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	796	900	900	959
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	530	530	530	540
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	2,120	2,120	2,120	2,220
計	トータルコスト A+B	千円	2,916	3,020	3,020	3,179
備考						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

① 施策体系との整合性

コミュニティ活動の活性化を促進しているため、整合性がある。

② 市の関与の妥当性

市民協働を進めるうえでコミュニティ活動の活性化は重要であり、その活動の支援が必要であるため、妥当である。

③ 対象の妥当性

コミュニティ活動の支援という事業目的を充足しているため、現状で妥当である。

④ 廃止・休止の影響

利用者が民間のバスを借り上げることが考えられるが、費用が生じるため、地域活動を推進していく上での負担となる。よって、廃止した場合影響がある。

(2) 有効性評価 (成果の向上余地)

老朽化のため、国の地域の元気臨時交付金を使用し、バスを更新を図り、利用者が増す可能性がある。

利用目的を市政見学会や地域の学習活動等に限定して貸し出しを行っているため。

(3) 公平性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

利用申し込みを公開抽選としているほか、同一団体の抽選会参加も年度内1回に限定している。

地域コミュニティ活動の促進を目的とし、町内会、市民運動団体等地域活動団体を対象としており、受益機会は適正である。

(4) 効率性評価

バス1台で運行していることから、人員削減は不可能である。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 改革改善の方向性

現在使用している、「せきれい」号は、購入から 22 年が経過しており、車両の老朽化に伴い修繕箇所が多くなっている。そのため、国からの地域の元気臨時交付金により、バスの更新を図る。

バス利用変更する内容として、利用日、利用区域、の変更を検討している。

これからは、玉山区を参考として民間委託も含めた事業の見直しを検討する必要がある。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

利用の変更をするにあたって、予算の枯渇が予想されるがバスを更新したことにより予算の節内で対応していきたい。

バス運行を民間委託することが考えられるが、現状ではコスト削減に結び付かない。

5 課長意見

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

バスの利用内容の変更により、毎年減少していた利用者を増やすことが出来ると予想する。また、当面の間は当職員で運行できる間は運行していきたい。今後長期的に見て委託も検討していきたい。